# 平成26年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年２月12日

上場会社名　株式会社ＵＡＣＪ　上場取引所　東
コード番号　5741　ＵＲＬ　http://www.uacj.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）岡田　満
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　（氏名）磯　政男　ＴＥＬ　(03)6202-2600(代)
四半期報告書提出予定日　平成26年２月14日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満四捨五入）

１．平成26年３月期第３四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年３月期第３四半期 | 224,796 | 64.0 | 11,282 | 217.1 | 10,641 | 179.8 | 9,860 | 374.6 |
| 25年３月期第３四半期 | 137,065 | △6.2 | 3,558 | △38.7 | 3,804 | △31.0 | 2,077 | △25.2 |

（注）包括利益　26年３月期第３四半期　15,327百万円（374.2%）　25年３月期第３四半期　3,233百万円（202.7%）

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年３月期第３四半期 | 33.52 | － |
| 25年３月期第３四半期 | 9.15 | － |

（２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | １株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 26年３月期第３四半期 | 608,223 | 167,370 | 25.5 | 361.63 |
| 25年３月期 | 219,038 | 77,299 | 34.9 | 336.80 |

（参考）自己資本　26年３月期第３四半期　154,822百万円　25年３月期　76,483百万円

２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年３月期 | － | 3.00 | － | 3.00 | 6.00 |
| 26年３月期 | － | 3.00 | － | | |
| 26年３月期（予想） | | | | 6.00 | 9.00 |

（注１）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
（注２）平成26年３月期（予想）期末配当金の内訳　普通配当　３円00銭　記念配当　３円00銭
詳細につきましては、本日(平成26年２月12日)公表しました「業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 380,000 | 106.9 | 16,500 | 209.0 | 15,500 | 166.4 | 11,000 | 249.6 | 33.58 |

（注１）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
（注２）詳細につきましては、本日（平成26年２月12日）公表しました「業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 3社　（社名）UACJ AUSTRALIA PTY. LTD.、Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.、Tri-Arrows Aluminum Inc.

除外　0社　（社名）－

（注）詳細は、添付資料Ｐ．３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：有
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年３月期３Ｑ | 428,281,934株 | 25年３月期 | 227,100,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年３月期３Ｑ | 153,084株 | 25年３月期 | 12,955株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 26年３月期３Ｑ | 294,111,677株 | 25年３月期３Ｑ | 227,087,464株 |

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動などに伴うリスクやさまざまな不確定要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（企業結合等関係） …… 10
（平成26年３月期　第３四半期決算短信（連結）　補足資料） …… 13

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間の経済環境は、米国経済が回復基調で推移し、欧州経済も債務問題が沈静化し、景気は持ち直しの兆しが見られております。新興国においても、経済成長の鈍化等、依然として景気の下振れリスクは懸念されておりますが、緩やかな拡大が持続しました。一方、我が国経済においては、政府・日銀が連携し、財政・金融政策を実施する等により円安基調が定着し、株価回復が見られました。個人消費、ＧＤＰ等の指標は上昇し、設備投資も回復傾向にあるなど、先行き不透明感は残るものの、景気は着実な回復基調を維持しております。

こうした状況の下、平成25年10月１日に当社は住友軽金属工業株式会社と経営統合し、新たに「株式会社ＵＡＣＪ」として発足いたしました。当社は現在、統合効果を早期に最大限創出できるよう努め、「世界的な競争力を持つアルミニウムメジャーグループ」を目指しております。

当第３四半期連結累計期間の当社グループの業績は、旧古河スカイ株式会社の第２四半期連結累計期間（平成25年４月１日～９月30日）の金額に、株式会社ＵＡＣＪの当第３四半期連結会計期間（10月１日～12月31日）の金額を加算したものであります。

当第３四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、本経営統合による事業規模の拡大に加え、従来持分法適用関連会社であったTri-Arrows Aluminum Holding Inc.及びTri-Arrows Aluminum Inc.が本経営統合に伴う議決権所有割合の増加により連結子会社となったことを主因に、売上高は224,796百万円（前年同期比87,732百万円の増加）、営業利益は11,282百万円（同7,724百万円の増加）、経常利益は10,641百万円（同6,837百万円の増加）となりました。

四半期純利益につきましては、減損損失2,758百万円を特別損失に計上したものの、上記の持分法適用関連会社から連結子会社への段階取得に係る差益6,127百万円を特別利益に計上したこと等により、9,860百万円（同7,782百万円の増加）となりました。（段階取得に係る差益につきましては、本日（平成26年２月12日）公表しました「特別利益の計上に関するお知らせ」をご参照ください。）

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

なお、本経営統合に伴い、当第３四半期連結累計期間より当社グループの報告セグメントの区分を「アルミ圧延品事業」、「伸銅品事業」、「加工品・関連事業」の３区分へ変更し、対前年同期比は、旧古河スカイ株式会社の前第３四半期連結累計期間分を新区分に組み替えた数値との比較を記載しております。詳細については、添付資料Ｐ．８「３．四半期連結財務諸表（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

<u>アルミ圧延品事業</u>

アルミニウム圧延業界においては、主力の缶材需要は前年同期並の水準で推移し、自動車関連需要は、上半期にかけて前年度のエコカー減税効果の反動減があったものの、円安の定着や堅調な個人消費に支えられ、堅調に推移しました。一方、ＩＴ機器向けや印刷版用板材、輸出等の需要は減少しました。これらの結果、当期のアルミニウム圧延需要は、全体では前年同期比でほぼ横ばいとなりました。

当社グループにおいては、本経営統合による事業規模の拡大、Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.及びTri-Arrows Aluminum Inc.の連結子会社化、ＬＮＧ船用厚板の販売量の増加等により、当第３半期連結累計期間の売上高は194,468百万円（前年同期比63,940百万円の増加）、営業利益は11,987百万円（同8,382百万円の増加）となりました。

<u>伸銅品事業</u>

本経営統合に伴い、当報告セグメントを新たに追加しております。

伸銅業界におきましては、猛暑により家庭用エアコン向け、業務用エアコン向けの需要が共に堅調であったものの、国内銅管出荷量は、国内供給メーカーの減少や輸入材の増加等により、全体として低水準に留まりました。

当社グループにおいては、当第３四半期連結累計期間の売上高は10,953百万円、営業利益は174百万円となりました。

<u>加工品・関連事業</u>

本経営統合に伴い、当報告セグメントを新たに区分しております。

当社グループにおいては、本経営統合により連結子会社数が増加したことに加え、自動車用部品や建材等の販売が堅調に推移したこと等により、当第３四半期連結累計期間の売上高は43,555百万円（同32,609百万円の増加）、営業利益は1,652百万円（同1,014百万円の増加）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は608,223百万円（前連結会計年度末比389,184百万円の増加）、負債合計は440,853百万円（前連結会計年度末比299,113百万円の増加）、純資産合計は167,370百万円（前連結会計年度末比90,071百万円の増加）となりました。これらは本経営統合による影響を主因としております。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、従来、未定としておりましたが、今般、足下の経営環境等を踏まえ、通期の見通しを公表いたしました。詳細につきましては、本日（平成26年２月12日）公表しました「業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

## ２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は住友軽金属工業株式会社（以下「住友軽金属」といいます。）を、平成25年10月１日を効力発生日として吸収合併（以下「本合併」といいます。）しております。

本合併を実施したことに伴い、住友軽金属の子会社であったUACJ AUSTRALIA PTY. LTD.（同日付けで、SLM AUSTRALIA PTY. LTD.より社名変更）、当社の持分法適用関連会社であったTri-Arrows Aluminum Holding Inc.及びTri-Arrows Aluminum Inc.は、当社の子会社になりました。これらは（i）その直近の事業年度の末日の純資産額が、当社の直近の事業年度の末日の純資産額の100分の30以上であり、また（ii）その資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上であることから、当社の特定子会社に該当しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（期末日満期手形等の会計方針の変更）

期末日満期手形及び電子記録債務の会計処理は、末日が金融機関の休日である場合、満期日に決済が行なわれたものとして処理しておりましたが、経営統合に伴う処理の統一を目的として、当第３四半期連結会計期間より実際の手形交換日もしくは決済日に処理する方法に変更しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。

これにより、遡及適用を行なう前と比べて、前連結会計年度の現金及び預金が604百万円減少し、受取手形及び売掛金が1,860百万円、支払手形及び買掛金が434百万円、電子記録債務が812百万円、その他流動負債が10百万円それぞれ増加しております。

## ３．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成25年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成25年12月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,419 | 21,249 |
| 受取手形及び売掛金 | 55,738 | 111,565 |
| 商品及び製品 | 4,667 | 24,379 |
| 仕掛品 | 9,279 | 36,054 |
| 原材料及び貯蔵品 | 9,471 | 27,106 |
| 繰延税金資産 | 1,206 | 3,647 |
| 短期貸付金 | 3,000 | 1,994 |
| 未収入金 | 4,067 | 5,458 |
| その他 | 1,059 | 6,015 |
| 貸倒引当金 | △89 | △42 |
| 流動資産合計 | 96,817 | 237,424 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 20,303 | 48,805 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 22,191 | 53,976 |
| 土地 | 37,500 | 115,075 |
| リース資産（純額） | 70 | 8,351 |
| 建設仮勘定 | 12,559 | 23,015 |
| その他（純額） | 1,846 | 3,042 |
| 有形固定資産合計 | 94,469 | 252,266 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 250 | 48,146 |
| ソフトウエア | 1,459 | 2,123 |
| その他 | 111 | 16,322 |
| 無形固定資産合計 | 1,820 | 66,591 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 17,981 | 27,528 |
| 長期貸付金 | 0 | 6,098 |
| 長期前払費用 | 171 | 1,804 |
| 繰延税金資産 | 2,655 | 9,596 |
| その他 | 5,140 | 6,970 |
| 貸倒引当金 | △16 | △54 |
| 投資その他の資産合計 | 25,932 | 51,942 |
| 固定資産合計 | 122,221 | 370,798 |
| 資産合計 | 219,038 | 608,223 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成25年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成25年12月31日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 36,407 | 105,588 |
| 電子記録債務 | 3,683 | 3,244 |
| 短期借入金 | 21,171 | 51,025 |
| コマーシャル・ペーパー | ― | 7,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 133 | 99 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 11,050 | 46,335 |
| リース債務 | 414 | 3,536 |
| 未払金 | 9,429 | 8,390 |
| 未払費用 | 7,884 | 15,017 |
| 未払法人税等 | 877 | 1,432 |
| 未払消費税等 | 40 | 584 |
| その他 | 261 | 3,185 |
| 流動負債合計 | 91,349 | 245,434 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 184 | 10,150 |
| 長期借入金 | 38,228 | 138,977 |
| リース債務 | 1,143 | 10,233 |
| 退職給付引当金 | 8,289 | 21,765 |
| 役員退職慰労引当金 | 153 | 277 |
| 環境対策引当金 | 176 | 232 |
| 事業構造改善引当金 | 724 | 785 |
| 繰延税金負債 | 125 | 8,600 |
| その他 | 1,369 | 4,401 |
| 固定負債合計 | 50,390 | 195,419 |
| 負債合計 | 141,739 | 440,853 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 16,528 | 45,000 |
| 資本剰余金 | 35,184 | 72,901 |
| 利益剰余金 | 22,254 | 30,594 |
| 自己株式 | △3 | △49 |
| 株主資本合計 | 73,964 | 148,446 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 240 | 1,100 |
| 繰延ヘッジ損益 | 25 | 136 |
| 為替換算調整勘定 | 2,253 | 5,141 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,519 | 6,377 |
| 少数株主持分 | 816 | 12,547 |
| 純資産合計 | 77,299 | 167,370 |
| 負債純資産合計 | 219,038 | 608,223 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成24年４月１日<br>至　平成24年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成25年４月１日<br>至　平成25年12月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 137,065 | 224,796 |
| 売上原価 | 120,561 | 192,667 |
| 売上総利益 | 16,504 | 32,129 |
| 販売費及び一般管理費 | 12,946 | 20,848 |
| 営業利益 | 3,558 | 11,282 |
| 営業外収益 | | |
| 持分法による投資利益 | 823 | 820 |
| 受取賃貸料 | 157 | 193 |
| その他 | 215 | 434 |
| 営業外収益合計 | 1,195 | 1,447 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 777 | 1,314 |
| 支払補償費 | 132 | 163 |
| 休止固定資産減価償却費 | － | 206 |
| その他 | 40 | 405 |
| 営業外費用合計 | 949 | 2,088 |
| 経常利益 | 3,804 | 10,641 |
| 特別利益 | | |
| 段階取得に係る差益 | － | 6,127 |
| 固定資産売却益 | 8 | 12 |
| その他 | 0 | 1 |
| 特別利益合計 | 8 | 6,139 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | － | 2,758 |
| 固定資産除却損 | 46 | 171 |
| その他 | 66 | 229 |
| 特別損失合計 | 112 | 3,158 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,699 | 13,622 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 527 | 1,668 |
| 法人税等調整額 | 972 | 1,649 |
| 法人税等合計 | 1,499 | 3,317 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,200 | 10,305 |
| 少数株主利益 | 123 | 445 |
| 四半期純利益 | 2,077 | 9,860 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成24年４月１日<br>至　平成24年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成25年４月１日<br>至　平成25年12月31日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,200 | 10,305 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △51 | 860 |
| 繰延ヘッジ損益 | 367 | 200 |
| 為替換算調整勘定 | △122 | 5,008 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 839 | △1,047 |
| その他の包括利益合計 | 1,032 | 5,022 |
| 四半期包括利益 | 3,233 | 15,327 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,112 | 13,718 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 120 | 1,610 |

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は平成25年10月１日に住友軽金属工業株式会社との経営統合を行なっており、当第３四半期連結累計期間において、資本金が28,472百万円増加、資本剰余金が37,717百万円増加し、当第３四半期連結会計期間末において資本金は45,000百万円、資本剰余金は72,901百万円となりました。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | アルミ圧延品事業 | 伸銅品事業 | 加工品・関連事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 128,284 | － | 8,781 | 137,065 | － | 137,065 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2,244 | － | 2,165 | 4,409 | △4,409 | － |
| 計 | 130,528 | － | 10,946 | 141,474 | △4,409 | 137,065 |
| セグメント利益 | 3,605 | － | 638 | 4,243 | △686 | 3,558 |

（注）１．セグメント利益の調整額△686百万円には、たな卸資産の調整額45百万円、セグメント間取引消去△42百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△688百万円が含まれております。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | アルミ圧延品事業 | 伸銅品事業 | 加工品・関連事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 180,547 | 7,981 | 36,268 | 224,796 | － | 224,796 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 13,921 | 2,972 | 7,287 | 24,180 | △24,180 | － |
| 計 | 194,468 | 10,953 | 43,555 | 248,976 | △24,180 | 224,796 |
| セグメント利益 | 11,987 | 174 | 1,652 | 13,812 | △2,531 | 11,282 |

（注）１．セグメント利益の調整額△2,531百万円には、たな卸資産の調整額△312百万円、セグメント間取引消去△164百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,054百万円が含まれております。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
３．住友軽金属工業株式会社との経営統合により、前連結会計年度末に比べ、各報告セグメントの資産が増加しております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、「圧延」及び「加工品」の２つの事業セグメントを集約し、「アルミ圧延品事業」を単一の報告セグメントとしておりましたが、平成25年10月１日の当社と住友軽金属工業株式会社の経営統合による事業規模の拡大に伴い、事業単位での収益管理責任を明確にすることとしました。これに伴い、当第３四半期連結会計期間より、報告セグメントを「アルミ圧延品事業」、「伸銅品事業」及び「加工品・関連事業」の３区分に変更しております。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

（企業結合等関係）

当第３四半期連結会計期間（自　平成25年10月１日　至　平成25年12月31日）

Ⅰ．当社と住友軽金属工業株式会社との経営統合

取得による企業結合

当社と住友軽金属工業株式会社（以下「住友軽金属」という。）は、平成24年８月29日に、平成25年10月１日を効力発生日として両社が対等の精神に基づき経営統合すること（以下「本経営統合」という。）について合意し、統合基本合意書を締結いたしましたが、平成25年４月26日に本経営統合について最終的に合意し、合併契約を締結いたしました。同契約は平成25年６月20日開催の当社定時株主総会で承認可決され、予定通り平成25年10月１日に本経営統合を実施致しました。

１．企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称　　住友軽金属工業株式会社

事業の内容　　アルミニウム圧延製品等の製造・販売

(2) 企業結合を行った主な理由

本経営統合により、各々の会社で培って来た優れた技術力、品質・コスト管理、お客様のニーズへの対応力、製品開発力等の経営資源・資産の融合により、相乗効果を追求し、アルミニウム圧延市場における競争力と企業体質の強化を図ってまいります。これら旧両社の総力を結集し早期に実現することで国内アルミニウム圧延事業の基盤を強化するとともに、グローバル化を加速させ、環境、エネルギー等今後伸長が期待される新規成長・開発分野への対応、東南アジア等新興国マーケットでのアルミニウム圧延品の大幅な需要増加への対応を推進いたします。そして、グローバルマーケットで確固たる存在感を持つ「世界的な競争力を持つアルミニウムメジャー会社」となることを目指します。

(3) 企業結合日

平成25年10月１日

(4) 企業結合の法的形式

当社を存続会社、住友軽金属を消滅会社とする吸収合併

(5) 結合後企業の名称

株式会社ＵＡＣＪ

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

対価の種類が株式である企業結合であり、当社が当該株式を交付する企業であること及び結合前の当社株主が結合後企業の議決権比率の最も大きい割合を占めること等から、当社を取得企業と決定いたしました。

２．四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成25年10月１日から平成25年12月31日まで

３．被取得企業の取得原価及びその内訳

| | |
|---|---|
| 取得の対価（企業結合日に交付した株式会社ＵＡＣＪの普通株式の時価） | 66,189百万円 |
| 取得に直接要した費用等（アドバイザリー費用等） | 512百万円 |
| 取得原価 | 66,701百万円 |

４．株式の種類別の合併比率及びその算定方法並びに交付した株式数

(1) 株式の種類別の合併比率

住友軽金属の普通株式１株に対して、当社の普通株式0.346株を割り当て交付

(2) 合併比率の算定方法

①算定の基礎

当社及び住友軽金属は、本合併に用いられる合併比率の算定にあたって公正性・妥当性を期すため、それぞれが独立した第三者算定機関に合併比率の算定を依頼し、それぞれ合併比率算定書を受領いたしました。当社は第三者算定機関としてみずほ証券株式会社（以下「みずほ証券」という。）及び野村證券株式会社（以下「野村證券」という。）を起用いたしました。住友軽金属は第三者算定機関としてSMBC日興証券株式会社（以下「SMBC日興証券」という。）及び大和証券株式会社（以下「大和証券」という。）を起用いたしました。

なお、当社が各第三者算定機関に対して提出したディスカウンテッド・キャッシュフロー法（DCF法）による算定の基礎となる将来の利益計画においては、対前年度比較において大幅な増益となる事業年度が含まれています。これは主として、コスト削減効果やタイ等での生産体制拡大及び新興国を中心とした需要の取り込み等の要素を見込んでいるためです。

また、住友軽金属が各第三者算定機関に対して提出したDCF法による算定の基礎となる将来の利益計画においては、大幅な増減益を見込んでおりません。

②算定の経緯

上記記載のとおり、当社はみずほ証券及び野村證券に、住友軽金属はSMBC日興証券及び大和証券に、それぞれ本合併に用いられる合併比率の算定を依頼し、当該第三者算定機関による算定結果を参考に、それぞれ両社の財務の状況、資産の状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、両社で合併比率について慎重に協議を重ねた結果、最終的に上記合併比率が妥当であるとの判断に至り、合意・決定いたしました。

(3) 交付した株式数

201,181,934株

５．発生したのれんの金額、発生要因、償却方法及び償却期間

| | | |
|---|---|---|
| (1) | 金額 | 36,546百万円<br>なお、取得原価の配分の一部が完了していないため、上記の金額は暫定的に算定された金額です。 |
| (2) | 発生原因 | 取得原価が企業結合時の時価純資産を上回ったため |
| (3) | 償却方法及び償却期間 | 20年間にわたる均等償却 |

Ⅱ．Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.の子会社化

取得による企業結合

１．企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称　　Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.

事業の内容　　アルミニウム板製品の製造販売会社であるTri-Arrows Aluminum Inc.株式の保有

(2) 企業結合を行った主な理由

住友軽金属との企業結合に伴い、同社が所有していた株式を取得したものです。

(3) 企業結合日

平成25年10月１日

(4) 企業結合の法的形式

吸収合併により、消滅会社である住友軽金属が保有していた株式を受け入れたものです。

(5) 結合後企業の名称

Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.

(6) 取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率　35%

企業結合日に追加取得した議決権比率　40%

取得後の議決権比率　75%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が吸収合併により株式を受け入れたためです。

２．四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成25年４月１日から平成25年12月31日まで

但し、平成25年４月１日から平成25年９月30日までは持分法適用関連会社として業績に含めております。

３．被取得企業の取得原価及びその内訳

| | |
|---|---|
| 企業結合直前に保有していたTri-Arrows Aluminum Holding Inc.の普通株式の企業結合日における時価 | 18,400百万円 |
| 追加取得した普通株式の企業結合日における時価 | 21,029百万円 |
| 取得原価 | 39,429百万円 |

４．被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

段階取得に係る差益　6,127百万円

５．発生したのれんの金額、発生要因、償却方法及び償却期間

(1) 金額　11,215百万円（114,729千米ドル）

なお、上記金額は当社が企業結合直前に保有していた持分35%と住友軽金属との合併により追加取得した持分40%を合わせた75%の持分に対応する金額です。

(2) 発生原因　取得原価が企業結合時の時価純資産を上回ったため

(3) 償却方法及び償却期間　20年間にわたる均等償却

（平成26年３月期　第３四半期決算短信(連結)　補足資料）

平成26年２月12日
株式会社ＵＡＣＪ

# 実態（旧両社合算ベース）での業績比較

1.第３四半期(累計)連結業績

(1)決算短信公表値

①業績比較　（単位：億円）

| | 平成25年3月期第3四半期(累計)※1 | 平成26年3月期第3四半期(累計)※2 | 損益増減 |
|---|---|---|---|
| 売上高 | 1,371 | 2,248 | 877 |
| 営業利益 | 36 | 113 | 77 |
| 経常利益 | 38 | 106 | 68 |
| 当期純利益 | 21 | 99 | 78 |

②セグメント別売上高・営業利益　（単位：億円）

| | 平成25年3月期第3四半期(累計)※1 | | 平成26年3月期第3四半期(累計)※2 | | 損益増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 |
| アルミ圧延品事業 | 1,305 | 36 | 1,945 | 120 | 640 | 84 |
| 伸銅品事業 | － | － | 110 | 2 | 110 | 2 |
| 加工品・関連事業 | 109 | 6 | 436 | 17 | 327 | 11 |
| 調整額 | △ 43 | △ 6 | △ 243 | △ 26 | △ 200 | △ 20 |
| 合計 | 1,371 | 36 | 2,248 | 113 | 877 | 77 |

※1 古河スカイ㈱の業績
※2 第２四半期連結累計期間（４～９月）… 古河スカイ㈱の業績
第３四半期連結会計期間(10～12月）… ㈱ＵＡＣＪの業績

(2)実態(旧両社合算ベース)

①業績比較　（単位：億円）

| | 平成25年3月期第3四半期(累計)※1 | 平成26年3月期第3四半期(累計)※2 | 損益増減 |
|---|---|---|---|
| 売上高 | 3,812 | 3,956 | 144 |
| 営業利益 | 157 | 185 | 28 |
| 経常利益 | 121 | 153 | 32 |
| 当期純利益 | 53 | 117 | 64 |

②セグメント別売上高・営業利益　（単位：億円）

| | 平成25年3月期第3四半期(累計) | | 平成26年3月期第3四半期(累計) | | 損益増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 |
| アルミ圧延品事業 | 3,004 | 156 | 3,125 | 196 | 121 | 40 |
| 伸銅品事業 | 372 | 14 | 347 | 7 | △ 25 | △ 7 |
| 加工品・関連事業 | 1,149 | 19 | 1,060 | 26 | △ 89 | 7 |
| 調整額 | △ 713 | △ 32 | △ 576 | △ 44 | 137 | △ 12 |
| 合計 | 3,812 | 157 | 3,956 | 185 | 144 | 28 |

※1 古河スカイ㈱と住友軽金属工業㈱の合算
(Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.(以下、TAAHという。)は持分法適用会社から連結子会社に単純組替)
※2 第２四半期連結累計期間（４～９月）… 古河スカイ㈱と住友軽金属工業㈱の合算
(TAAHは持分法適用会社から連結子会社に単純組替)
第３四半期連結会計期間(10～12月）… ㈱ＵＡＣＪの業績

2.通期連結業績

(1)決算短信公表値

①業績比較　（単位：億円）

| | 平成25年3月期※1 | 平成26年3月期(予想)※2 | 損益増減 |
|---|---|---|---|
| 売上高 | 1,837 | 3,800 | 1,963 |
| 営業利益 | 53 | 165 | 112 |
| 経常利益 | 58 | 155 | 97 |
| 当期純利益 | 31 | 110 | 79 |

②セグメント別売上高・営業利益　（単位：億円）

| | 平成25年3月期※1 | | 平成26年3月期(予想)※2 | | 損益増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 |
| アルミ圧延品事業 | 1,750 | 52 | 3,088 | 177 | 1,338 | 125 |
| 伸銅品事業 | － | － | 253 | 3 | 253 | 3 |
| 加工品・関連事業 | 150 | 9 | 837 | 24 | 687 | 15 |
| 調整額 | △ 63 | △ 8 | △ 378 | △ 39 | △ 315 | △ 31 |
| 合計 | 1,837 | 53 | 3,800 | 165 | 1,963 | 112 |

※1 古河スカイ㈱の業績
※2 第２四半期連結累計期間（４～９月）… 古河スカイ㈱の業績
第３・第４四半期連結会計期間(10～３月)…㈱ＵＡＣＪの業績予想値

(2)実態(旧両社合算ベース)

①業績比較　（単位：億円）

| | 平成25年3月期 ※1 | 平成26年3月期 (予想)※2 | 損益増減 |
|---|---|---|---|
| 売上高 | 5,196 | 5,500 | 304 |
| 営業利益 | 221 | 240 | 19 |
| 経常利益 | 178 | 200 | 22 |
| 当期純利益 | 47 | 130 | 83 |

②セグメント別売上高・営業利益　（単位：億円）

| | 平成25年3月期 ※1 | | 平成26年3月期 (予想)※2 | | 損益増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 |
| アルミ圧延品事業 | 4,084 | 217 | 4,269 | 253 | 185 | 36 |
| 伸銅品事業 | 491 | 15 | 491 | 8 | 0 | △ 7 |
| 加工品・関連事業 | 1,543 | 28 | 1,462 | 33 | △ 81 | 5 |
| 調整額 | △ 922 | △ 39 | △ 722 | △ 54 | 200 | △ 15 |
| 合計 | 5,196 | 221 | 5,500 | 240 | 304 | 19 |

※1 古河スカイ㈱と住友軽金属工業㈱の合算　(TAAHは持分法適用会社から連結子会社に単純組替)

※2 第２四半期連結累計期間（４～９月）… 古河スカイ㈱と住友軽金属工業㈱の合算
(TAAHは持分法適用会社から連結子会社に単純組替)

第３・第４四半期連結会計期間(10～３月）… ㈱ＵＡＣＪの業績予想値

本資料の業績予想の記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる場合があります。

以上